

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010100		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	数量調整円滑化推進事業		予算事業名	数量調整円滑化推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		コメ産地を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	水稲作付面積	ha	219	223	221	218	
	転作実施面積	ha	225	232	232	240	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.664	0.740	111	0.748	101	0.768	103	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,557,664	6,022,696	108	6,067,206	101	6,491,997	107	
	事業費	333,026	270,657	81	228,587	84	233,000	102	
	合計	5,890,690	6,293,353	107	6,295,793	100	6,724,997	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	268,000	205,000	76	165,000	80	165,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,622,690	6,088,353	108	6,130,793	101	6,559,997	107	
	合計	5,890,690	6,293,353	107	6,295,793	100	6,724,997	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	226	226	100.0	223	98.7	218	97.8	
	実績	219	223	101.8	212	95.1			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	219	220	100.5	230	104.5	218	94.8	
	実績	225	232	103.1	212	91.4			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

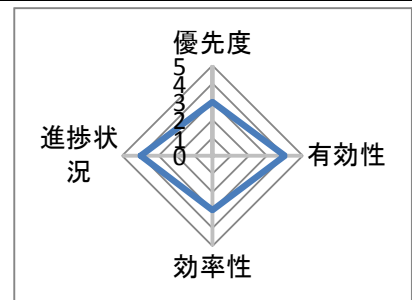
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される目標数値は達成している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の価格を維持するため国において農業者に作付け規制を行っており、相生市の農業振興としては多品目を選定する必要がある。	
効率性	コストの節減	国における減反政策であるので節減には限界がある。	3
	執行体制の効率性	営農知識のあるJAと連携し効率的に行っていく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJAと連携し効率的に行っていく



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農知識のあるJAと連携し効率的に行っていく

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010200		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業		予算事業名	夢ある農村づくり推進事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	志水 弘樹
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落					
	誰(何)を対象として	農家・集落					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市独自の水田農業を確立するため、特産品のPR経費に対して助成を行う。また、集落の農地は集落が守る。を原則として集落営農組織育成のための活動に助成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市独自の水田農業を確立するため、特産品及び農産物直売所のPR経費及び集落営農組織の共同活動に対して補助を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	産地づくり補助	団体	9	9	9	9	
	集落活性化補助	集落	2	2	2	2	
	イベント補助	集落	2	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.184	0.388	211	0.340	88	0.340	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,768,064	3,303,848	187	2,930,910	89	3,054,729	104	
	事業費	1,228,498	1,785,461	145	11,573,182	648	2,100,000	18	
	合計	2,996,562	5,089,309	170	14,504,092	285	5,154,729	36	
財源内訳	国庫支出金	0	-	-	-	-	-	-	
	県支出金	0	-	-	-	-	-	-	
	市債	0	-	-	-	-	-	-	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	
	一般財源	2,996,562	5,089,309	170	14,504,092	285	5,154,729	36	
合計	2,996,562	5,089,309	170	14,504,092	285	5,154,729	36		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助							
指標説明(式)		取り組み団体の促進							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	実績	9	9	100.0	9	100.0			
指標名2		集落活性化補助							
指標説明(式)		取り組み集落の促進							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
集落	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

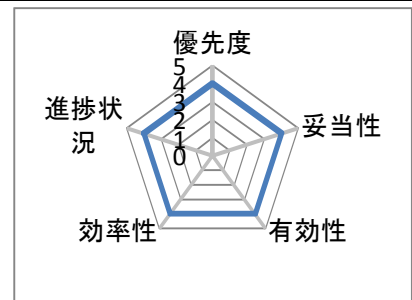
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各団体等において大きな成果はでていないものの、取り組みを行う集落及び団体への事業の浸透はできている。	4
	市民サービス	集落活動や直売所、加工所への助成をすることによって、地域の活性化を促し市民へのサービス向上につながる。	
効率性	負担割合の適正化	集落活動や直売所、加工所の団体に対する助成については、通常の活動の他に担い手育成などの取り組みを行うことができた集落、団体に行うものである。	4
	手段の最適性	現段階においては、各団体の発展を促すには必要な施策である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗していると考えている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各団体の事業規模が小さいため、広域連携を行うなど幅広い活動ができるよう促す



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	各種団体の活動PRとしてイベント活動を行っていく

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010400	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	農業金融制度利子補給事業	予算事業名	農業金融制度利子補給事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 宇野 智子
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)			
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者に貸し付けた資金について利子補給を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	農業近代化資金	件	0	0	0	1
	農業経営基盤強化資金	件	2	1	1	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.060	136	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	662,764	646,792	98	655,558	101	806,049	123	
	事業費	14,680	7,160	49	5,992	84	136,000	2,270	
	合計	677,444	653,952	97	661,550	101	942,049	142	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	6,800	3,576	53		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	670,644	650,376	97	661,550	102	942,049	142	
合計	677,444	653,952	97	661,550	101	942,049	142		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	1	50.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少ない。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果が見込まれる	
効率性	手段の最適性	効率的な農業経営を図るためには必要なことである。	4
	執行体制の効率性	県の随伴助成でもあり簡素化はできている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗している。	4

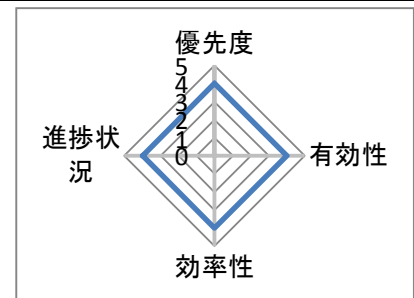
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	認定農業者が少なく、農業施設の整備の頻度が低く、利用者が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	農家の経営規模の拡大を促し、設備投資がしやすいよう対策が必要である。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010500	事業の種類	2
年度	25	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業	予算事業名	上松農業共同作業所管理事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名 志水 弘樹
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	乾燥調整量	袋	673	936	774	1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.024	55	0.024	100	0.040	167	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	662,764	492,312	74	501,818	102	645,429	129	
	事業費	2,393,500	0	0	2,540,500	-	300,000	12	
	合計	3,056,264	492,312	16	3,042,318	618	945,429	31	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,056,264	492,312	16	3,042,318	618	945,429	31	
合計	3,056,264	492,312	16	3,042,318	618	945,429	31		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	673	936	139.1	774	82.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

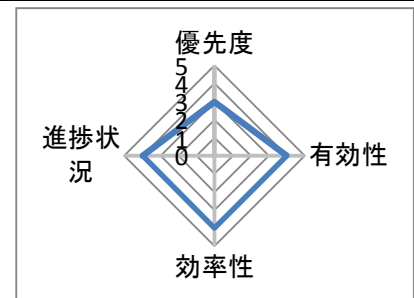
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供するため、ブロックローテーションの加減で、年度ごとに安定的な利用となっていない。	4
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	コストの節減	多くの利用を促すことで大きくコスト縮減ができるようになるが、施設の大きさによりもみ殻の保管ができないため利用には限度がある。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度により効率的に運営できている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する必要がある

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010600		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	土地改良事業(市単独分)		予算事業名	土地改良事業(市単独分) 優先度 3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高		担当者名	禪野 光伸
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		その他農林水産(市単土地改良事業)						
根拠法規及び関連法規		相生市土地改良事業分担金徴収条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者						
	誰(何)を対象として	農業用施設						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	市単独土地改良工事	地区	11	16	15	16		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.420	0.428	102	0.412	96	0.420	102	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	3,631,284	3,612,808	99	3,484,374	96	3,697,209	106	
	事業費	14,697,274	8,761,099	60	33,046,689	377	16,213,000	49	
	合計	18,328,558	12,373,907	68	36,531,063	295	19,910,209	55	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	3,406,254	1,518,300	45	1,866,984	123	1,640,000	88	
	一般財源	14,922,304	10,855,607	73	34,664,079	319	18,270,209	53	
合計	18,328,558	12,373,907	68	36,531,063	295	19,910,209	55		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

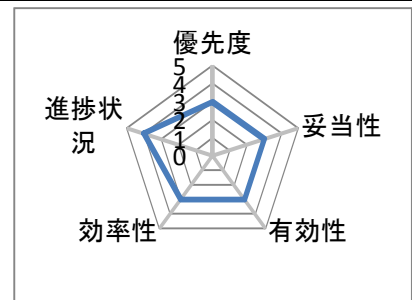
指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	100	100	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	3
効率性	コストの節減	見積合せ及び競争入札により削減が図られている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	老朽化している農業用施設が増えてきている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	緊急性・優先性	緊急性や優先性を考慮し、検討を行う。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010700	事業の種類	7
年度	25	事務事業名	土地改良事業(県施工分)	予算事業名	土地改良事業(県施工分) 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	禪野 光伸
実施計画事業名		ため池(那波野岩屋谷池)整備事業		実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者			
	誰(何)を対象として	農業用施設改修による負担金			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の改修を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		県施行事業				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	県施行事業	事業	1	2	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.620	0.612	99	0.612	100	0.620	101	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,210,284	5,034,024	97	5,021,774	100	5,303,409	106	
	事業費	19,960,900	16,140,426	81	6,899,031	43	8,394,000	122	
	合計	25,171,184	21,174,450	84	11,920,805	56	13,697,409	115	
財源内訳	国庫支出金			-	-	-	-	-	
	県支出金	115,000	1,222,525	1,063	566,800	46	67,000	12	
	市債			-	-	-	-	-	
	その他	2,543,940	2,683,170	105	199,920	7		0	
	一般財源	22,512,244	17,268,755	77	11,154,085	65	13,630,409	122	
合計	25,171,184	21,174,450	84	11,920,805	56	13,697,409	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施件数							
指標説明(式)		工事の実施件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	2	200.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	1	2	200.0	1	50.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

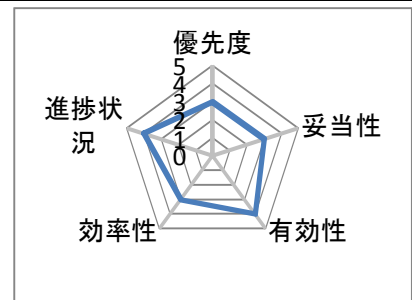
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	事業の完了により取水能力が良くなる。	4
効率性	負担割合の適正化	補助事業のため見直しはしない。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	農業施設が老朽化しており、危険性や緊急性を考慮し順次改修を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	危険性や緊急性を考慮し、順次改修することが必要である。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011000	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	農業総務費事務経費	予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高 担当者名 根津 恭平
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農家が安心して生活できるよう農業者団体の会員として活動すると共に、各部落農会長と連携し、適切な農業行政を展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		農家が安心して耕作できるよう各種連携を行い、適切な農業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	農家戸数	戸	980	963	964	965

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.307	0.104	34	0.112	108	0.192	171	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,739,149	1,110,232	41	1,178,274	106	1,866,141	158	
	事業費	5,747,500	5,816,680	101	5,766,000	99	9,167,000	159	
	合計	8,486,649	6,926,912	82	6,944,274	100	11,033,141	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,486,649	6,926,912	82	6,944,274	100	11,033,141	159	
合計	8,486,649	6,926,912	82	6,944,274	100	11,033,141	159		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	974	980	100.6	970	99.0	965	99.5	
	実績	980	963	98.3	964	100.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう業務に当たることができた。	4
	組織運営・適正管理	スムーズな農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たっている。	
効率性	コストの節減	農会長に集落の農地管理を任せており、年々業務が増える中、コスト増にならないよう行った。	4
	執行体制の効率性	関係機関との連絡体制を強化していく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	戸別所得補償制度等の新規事業についてもスムーズに移行できており概ね計画通り進捗している。	4

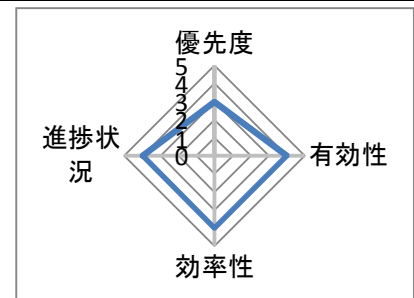
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	関係機関との連携体制を強化していく

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係機関との連携体制を強化していく



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	根津 恭平	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経営所得安定対策の推進等のための事務費						

2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	経営所得安定対策加入者	戸	567	538	490	500	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.284	-	0.274	96	0.152	55	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	315,384	2,500,552	793	2,423,568	97	1,544,901	64	
	事業費		1,865,000	-	1,865,000	100	1,865,000	100	
	合計	315,384	4,365,552	1,384	4,288,568	98	3,409,901	80	
財源内訳	国庫支出金		1,865,000	-	1,865,000	100	1,865,000	100	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	315,384	2,500,552	793	2,423,568	97	1,544,901	64	
合計	315,384	4,365,552	1,384	4,288,568	98	3,409,901	80		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	600	100.0	550	91.7	500	90.9	
	実績	567	538	94.9	490	91.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

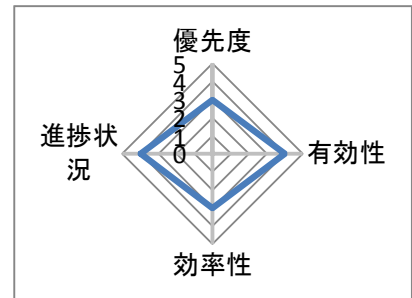
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行えた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行えた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき運用を行った。	3
	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会、県と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に事業実施するためJA、農業委員会、県と更なる連携が必要である



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	経営所得安定対策を円滑に事業実施するためJA、農業委員会、県と更なる連携が必要である

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011300	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	担当者名
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	農家			
	意図(どのような状態にしたいのか)	耕作不便地帯である棚田の保全のため、補助を行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を利用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	事業実施集落	地区	7	7	7	7

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.436	0.416	95	0.432	104	0.424	98	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	3,757,604	3,520,120	94	3,638,114	103	3,729,333	103	
	事業費	3,391,585	3,404,265	100	3,416,284	100	3,421,000	100	
	合計	7,149,189	6,924,385	97	7,054,398	102	7,150,333	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,516,163	2,516,163	100		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,633,026	4,408,222	95	7,054,398	160	7,150,333	101	
合計	7,149,189	6,924,385	97	7,054,398	102	7,150,333	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集落協定参加割合							
指標説明(式)		集落協定参加者(71軒) / 全農家数(1,013軒)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.4	6.4	100.0	7	109.4	7	100.0	
	実績	6.4	7	109.4	7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

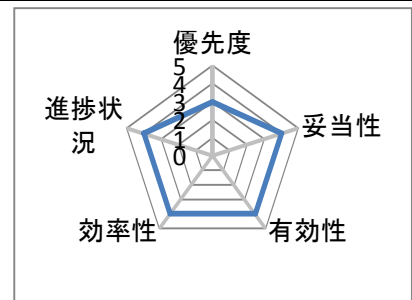
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	高齢化により、農地を管理することが負担になっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	地主が耕作できない状況になりつつあるため、担い手を探す必要がある。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020100	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	水産業振興費事務経費	予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	宇野 智子
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	漁業者数	人	52	51	50	57

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	0.052	144	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	599,604	585,000	98	594,062	102	741,801	125	
	事業費	232,000	231,560	100	120,000	52	171,000	143	
	合計	831,604	816,560	98	714,062	87	912,801	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	831,604	816,560	98	714,062	87	912,801	128	
合計	831,604	816,560	98	714,062	87	912,801	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁協経営体数							
指標説明(式)		漁協経営体数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	25	25	100.0	25	100.0	24	96.0	
	実績	25	24	96.0	24	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者が安心して生活できるよう漁業近代化資金借入ができるよう漁業信用基金協会に出資し適正な漁業行政を展開することで漁業者数を維持する。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開することで漁業者数を維持する。	4
	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

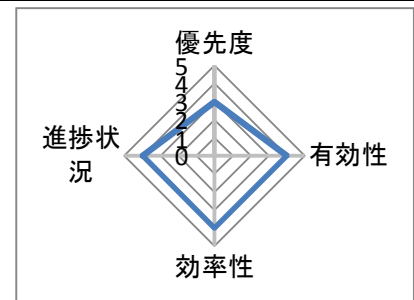
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業者において融資を受け投資を行う者が少なく市からの出資の有無の検討が必要である

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	出資金の廃止



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキのノロウイルス等の検査をすることによって安心・安全をPRすることで販売促進を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	調査	回	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.060	136	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	662,764	646,792	98	655,558	101	806,049	123	
	事業費	500,000	500,000	100	5,800,000	1,160	10,500,000	181	
	合計	1,162,764	1,146,792	99	6,455,558	563	11,306,049	175	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,162,764	1,146,792	99	6,455,558	563	11,306,049	175	
合計	1,162,764	1,146,792	99	6,455,558	563	11,306,049	175		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウイルス等検査							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

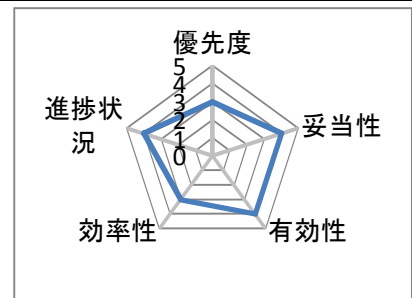
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年々 漁獲量は増えており成果は上がっている	4
	市民サービス	相生カキを安心して購入できるよう行った。	
効率性	コストの節減	販売金額が増えることによって市の負担は減額する方向で検討する必要がある。	3
	手段の最適性	生産は上がってきているので自助努力を促す必要がある	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	相生カキのブランド化は進んでおり、市の負担の減額が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生カキの普及は進んでいるため、相生漁協と更なる発展のため、連携を図る必要がある。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020300		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	漁船保険補助事業		予算事業名	漁船保険補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高		担当者名 宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁船損害等補償法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	漁船保険加入者	隻	96	90	90	90	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.060	136	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	662,764	646,792	98	655,558	101	806,049	123	
	事業費	1,847,545	1,827,653	99	1,849,982	101	1,975,000	107	
	合計	2,510,309	2,474,445	99	2,505,540	101	2,781,049	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,510,309	2,474,445	99	2,505,540	101	2,781,049	111	
合計	2,510,309	2,474,445	99	2,505,540	101	2,781,049	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの利子補給額							
指標説明(式)		利子補給額/隻							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	20877	20000	95.8	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	19245	20307	105.5	20555	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成している。	4
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理されている	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要であるため節減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組む。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

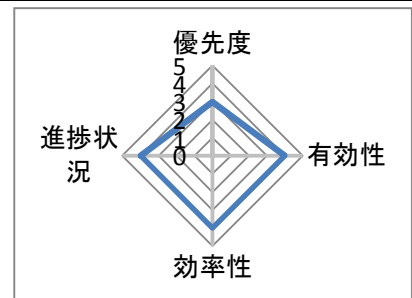
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	年々事故が増えており、利用の促進を図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	相生漁業と連携を図り、利用の促進を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020400	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業	予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		担当者名	宇野 智子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者			
	誰(何)を対象として	漁業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者に低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利子補給件数	人	7	7	6	6

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.060	136	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	662,764	646,792	98	655,558	101	806,049	123	
	事業費	393,305	200,358	51	345,169	172	950,000	275	
	合計	1,056,069	847,150	80	1,000,727	118	1,756,049	175	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,056,069	847,150	80	1,000,727	118	1,756,049	175	
合計	1,056,069	847,150	80	1,000,727	118	1,756,049	175		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(57名)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	30	15	50.0	15	100.0	15	100.0	
	実績	12	12	100.0	11	91.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

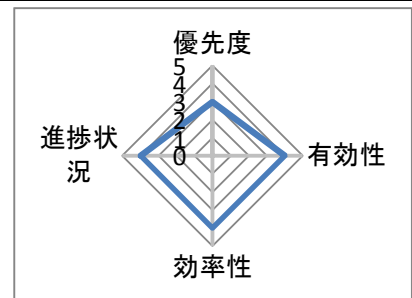
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営を安定することができた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	コストの節減	漁業者の安定経営を図るため必要でありコストの削減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県信漁連と連携を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	漁業者の設備投資に対する負担軽減として、利子補給することは、漁業経営の安定を図るためには必要なことである。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため更なる連携を相生漁協及び兵庫県信漁連と図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	志水 弘樹	
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		水産物市場整備事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾臨海部及び相生地区の活性化を図り、相生力キの振興及び近海の漁業の活性化を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		水産物市場の運営をするに当たって建物の所有者として、建物及び付帯設備の修繕に対応し、指定管理者が円滑に運営できるようにする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	修繕件数	件	2	5	3	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.132	0.084	64	0.084	100	0.100	119	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,357,524	955,752	70	963,038	101	1,127,289	117	
	事業費	168,840	3,583,230	2,122	954,450	27	2,900,000	304	
	合計	1,526,364	4,538,982	297	1,917,488	42	4,027,289	210	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	600,000	600,000	100	600,000	100	1,200,000	200	
	一般財源	926,364	3,938,982	425	1,317,488	33	2,827,289	215	
合計	1,526,364	4,538,982	297	1,917,488	42	4,027,289	210		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	4	100.0	5	125.0	5	100.0	
	実績	2	5	250.0	3	60.0			
指標名2		観光客数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0	53000	106.0	
	実績	49344	50032	101.4	52297	104.5			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

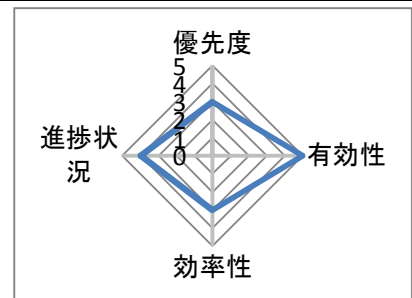
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者が増え効果が出つつある。	5
	組織運営・適正管理	指定管理者と連携し、相生力キの普及を行う。	
効率性	コストの節減	委託料の支払いは無く、建物所有者としての修繕料を執行した。	3
	執行体制の効率性	(株)魚稚に指定管理者と連携し効率的に事業を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	利用増に伴い施設の利用方法について指定管理者と協議する必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	建設後7年が経過し、維持費が増加しているため計画のある機器の入れ替えを行う必要がある

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040201020600		事業の種類		3	
年度	25	事務事業名	漁業緊急保証対策資金事業	予算事業名	漁業緊急保証対策資金事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者に対する融資の利子補給をすることにより漁業経営の安定化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁獲金額(販売金額)が大きく減少し、資金繰りに窮している漁業者が緊急的に借入した資金に対して、他の資金融資制度との利率の差額分を利子補給として行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	利子補給件数	人	7	6	6	6	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.060	136	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	662,764	646,792	98	655,558	101	806,049	123	
	事業費	160,245	115,209	72	60,822	53	61,000	100	
	合計	823,009	762,001	93	716,380	94	867,049	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	823,009	762,001	93	716,380	94	867,049	121	
合計	823,009	762,001	93	716,380	94	867,049	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者/漁業者(57名)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	12	12	100.0	11	91.7	11	100.0	
	実績	12	11	91.7	11	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

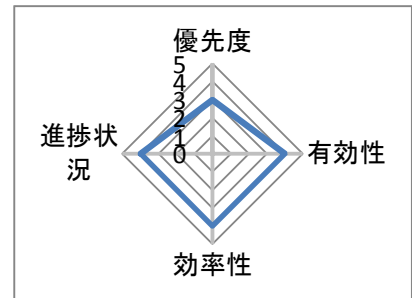
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利子補給することは漁業者の経営安定を図ることができた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県信漁連と連携し漁業者の経営安定を図ることができた。	
効率性	コストの節減	業業者の経営安定のための手段として有効であるためコストの節減はできない。	4
	執行体制の効率性	漁業者の経営安定を図るため相生漁協と兵庫県信漁連と連携を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	漁業者の経営安定を図ることができたが、一時的対応のため事業主が災害保険の加入などの対応が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	事業主が災害保険の加入などを促すため相生漁協と更なる連携を行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	禪野 光伸
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	林業教室受講者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	補助金	団体	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.304	0.304	100	0.404	133	0.424	105	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	2,715,464	2,655,032	98	3,422,878	129	3,729,333	109	
	事業費	433,000	442,690	102	430,000	97	497,000	116	
	合計	3,148,464	3,097,722	98	3,852,878	124	4,226,333	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,148,464	3,097,722	98	3,852,878	124	4,226,333	110	
合計	3,148,464	3,097,722	98	3,852,878	124	4,226,333	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数÷年間予定回数(60)×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

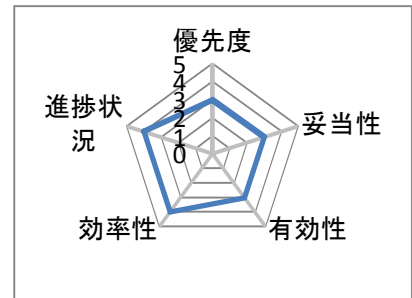
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	3
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 96回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新規の教室参加者が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新規参加者の増に努める。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	竹本 頼高	担当者名	禪野 光伸
取組み事項		交流拠点の活用とネットワーク化を促進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草						

2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	園内清掃除草	件	1	1	1	1	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.052	50	0.020	38	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,136,464	1,110,232	98	717,054	65	484,809	68	
	事業費	754,691	778,692	103	7,983,768	1,025	739,000	9	
	合計	1,891,155	1,888,924	100	8,700,822	461	1,223,809	14	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	42,135	50,207	119	55,789	111	51,000	91	
	一般財源	1,849,020	1,838,717	99	8,645,033	470	1,172,809	14	
合計	1,891,155	1,888,924	100	8,700,822	461	1,223,809	14		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を管理することにより、コスト縮減となっている。	3
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

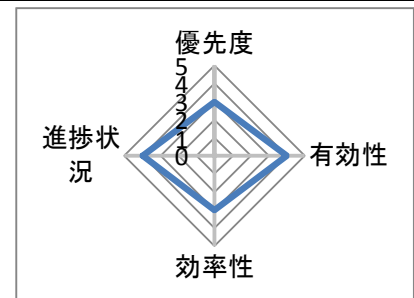
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	地元に管理を委託しているため、公園に関して関心は持っているが、利用者が固定化している。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	新たな利用者の確保が必要である。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010300	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	商工業対策事業	予算事業名	商工業対策事業
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名
取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者			
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業			
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	兵庫県物産協会負担金	円	25000	26000	26000	26000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.016	80	0.016	100
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-
支出内訳	人件費	441,704	461,416	104	440,322	95	452,685	103
	事業費	85,760	26,000	30	30,560	118	34,000	111
	合計	527,464	487,416	92	470,882	97	486,685	103
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他			-		-		-
	一般財源	527,464	487,416	92	470,882	97	486,685	103
合計	527,464	487,416	92	470,882	97	486,685	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	県物産協会販売状況								
指標説明(式)	一日平均売上点数/販売日数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	1132	1162	102.7	1104	95.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	2.8	3.5	125.0	3.5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	4

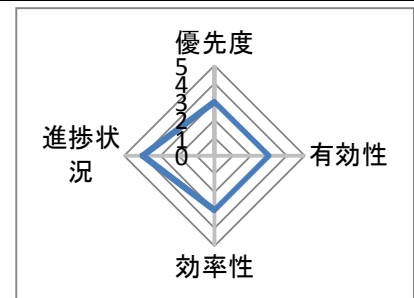
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	相生の物産PRのため、ひょうごふるさと館等の積極的な利用を行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	相生の物産PRのため、ひょうごふるさと館等の積極的な利用を行う。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040202010400		事業の種類		3	
年度	25	事務事業名	地場産業振興センター事業	予算事業名	地場産業振興センター事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業					
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	地場産業振興センター事業負担金	円	282000	282000	282000	281000	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.020	167	0.012	60	0.016	133	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	410,124	461,416	113	409,574	89	452,685	111	
	事業費	287,360	282,000	98	282,000	100	281,000	100	
	合計	697,484	743,416	107	691,574	93	733,685	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	697,484	743,416	107	691,574	93	733,685	106	
合計	697,484	743,416	107	691,574	93	733,685	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0	50000	100.0	
	実績	47618	53531	112.4		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	4

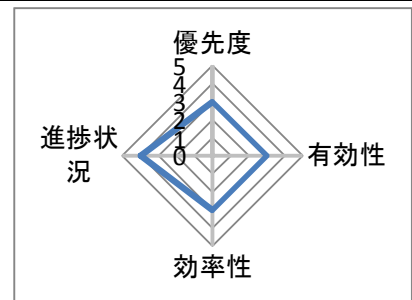
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生の地場産品のPRのため、地場産センターの活用保方法の検討

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	相生の地場産品の振興に関し、地場産センターとの連携を強化し、その機能の有効な活用を図る。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	堤 琢磨
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)						
	誰(何)を対象として						
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
			1	0	0		

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.012	0.020	167	0.012	60	0.012	100	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	410,124	461,416	113	409,574	89	420,561	103	
	事業費	3,851,000		0		-		-	
	合計	4,261,124	461,416	11	409,574	89	420,561	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,261,124	461,416	11	409,574	89	420,561	103	
	合計	4,261,124	461,416	11	409,574	89	420,561	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績		0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、25年度は申請が無かった。	1

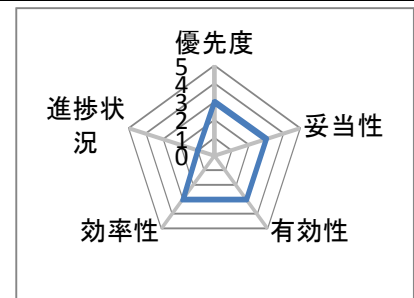
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010700	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	商店街空き店舗等活用事業	予算事業名	商店街空き店舗等活用事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る	担当課長	三宅 淳一	担当者名 堤 琢磨
取組み事項		魅力ある商業集積を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の事業者			
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空き店舗で事業をされる事業者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	3年間にわたり家賃の補助をすることで、新規に商店街空き店舗で開業していただき、空き店舗の増える商店街の活気を取り戻す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内の商店街の振興を図るため、当該商店街が形成されている地域で空き店舗を借り上げ、出店する経費に対し予算の範囲内において補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	補助金受領者数(新規)	店	0	2	3	1
	出店維持数	店	10	12	15	15

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.056	0.028	50	0.048	171	0.016	33	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	757,504	523,208	69	686,306	131	452,685	66	
	事業費		1,507,000	-	1,167,000	77	1,772,000	152	
	合計	757,504	2,030,208	268	1,853,306	91	2,224,685	120	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	757,504	2,030,208	268	1,853,306	91	2,224,685	120	
合計	757,504	2,030,208	268	1,853,306	91	2,224,685	120		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数							
指標説明(式)		数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
店	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	2	-	3	150.0			
指標名2		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助需給店舗×100							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標		84.6	-	86.6	102.4	90	103.9	
	実績	83.3	85.7	102.9	88.2	102.9			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

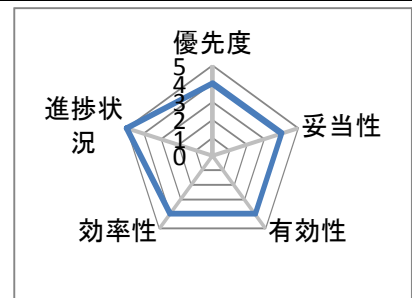
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、開業意欲につなげる事ができた。	4
	市民サービス	商店街の周辺には住宅があり、商店街の活性化は、市民生活に大きく影響する。商店街の存続は、特に車に乗らない高齢者にとってサービスに直結するものがある。	
効率性	コストの節減	今後、補助率及び補助期間の見直しを図る必要がある。	4
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空店舗を喰い止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	3件の新規利用者があり、商業の活性化に寄与した。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	新規開店には、設備投資も必要となるので、設備投資補助金についても考える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	新規開店における設備投資補助金の必要性の検討

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010800		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	まちな駅推進事業		予算事業名	まちな駅推進事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する空間施設です。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	加盟数	店	19				

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.044	55	0.064	145	0.188	294	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	946,984	646,792	68	809,298	125	1,834,017	227	
	事業費	300,000	445,200	148	300,000	67	300,000	100	
	合計	1,246,984	1,091,992	88	1,109,298	102	2,134,017	192	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,246,984	1,091,992	88	1,109,298	102	2,134,017	192	
	合計	1,246,984	1,091,992	88	1,109,298	102	2,134,017	192	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちな駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちな駅加盟店舗数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19	19	100.0	20	105.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

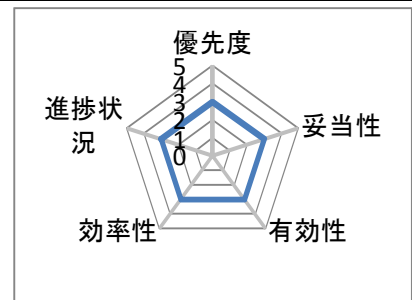
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	2.85	100.0	
	実績	2.71	2.71	100.0	2.85	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	3
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各駅同士のネットワークを構築する「まちの駅ネットワーク相生協議会」を発足した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各駅の営業時間の関係で「まちの駅ネットワーク相生協議会」開催に係る時間調整が難しい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	「まちの駅ネットワーク相生協議会」の発足による基盤強化と地域内外への周知

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項	商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者					
	誰(何)を対象として	市内商工業者の経営を円滑に行うために、					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		商工会議所会費及び特定商工業者負担金の合計額(24,000千円)の10%を目安に算出し、商工会議所に補助をする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	会員数(個人)	件	359	353	351	370	
	会員数(法人)	件	365	361	361	370	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.020	33	0.024	120	0.052	217	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	789,084	461,416	58	501,818	109	741,801	148	
	事業費	6,385,000	6,385,000	100	6,385,000	100	6,385,000	100	
	合計	7,174,084	6,846,416	95	6,886,818	101	7,126,801	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,174,084	6,846,416	95	6,886,818	101	7,126,801	103	
合計	7,174,084	6,846,416	95	6,886,818	101	7,126,801	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	400	370	92.5	370	100.0	370	100.0	
	実績	359	353	98.3	351	99.4			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	380	370	97.4	370	100.0	370	100.0	
	実績	365	361	98.9	361	100.0			

【効率性】

指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	6384	8628	135.2	8628	100.0	8628	100.0	
	実績	6878	8942	130.0	8967	100.3			

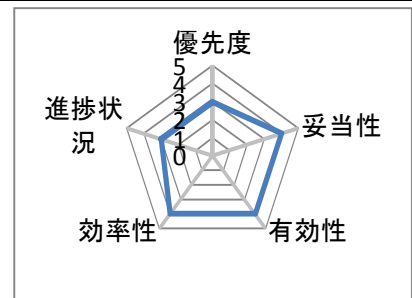
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下にあって、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適していると認める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業を精査し、より柔軟に活用できる補助を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業を精査し、より柔軟に活用できる補助を行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040202020200		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	産業活性化緊急支援補助事業	予算事業名	産業活性化緊急支援事業	優先度	—
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		商業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		住宅リフォーム助成事業					
根拠法規及び関連法規		相生市産業活性化緊急支援事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び市内建築業者					
	誰(何)を対象として	市民の居住環境の向上に対する需要及びそれに対する市内建築業者の受注機会の拡大					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の居住環境の向上に資するとともに、市内の消費活動及び地域産業の活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民が市内の施工業者を利用して住宅の修繕又は補修工事を行う場合、その経費の一部を補助する。 【補助金の額】補助対象経費の10%(最高限度額:10万円)				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	リフォーム助成件数	件		125	254	100
	工事金額	円		151956831	289759774	100000000

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.024	-	0.032	133	0.052	163	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費		492,312	-	563,314	114	741,801	132	
	事業費		9,516,000	-	18,940,000	199	10,000,000	53	
	合計		10,008,312	-	19,503,314	195	10,741,801	55	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		9,516,000	-	19,503,314	205	10,741,801	55	
合計		10,008,312	-	19,503,314	195	10,741,801	55		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標		100	-	100	100.0	100	100.0	
	実績		125	-	254	203.2			
指標名2		工事金額							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		100000000	-	100000000	100.0	100000000	100.0	
	実績		151956831	-	289759774	190.7			

【効率性】

指標名1		助成金額に占める総工事費の割合							
指標説明(式)		総工事費÷助成金額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
倍	目標		10	-	10	100.0	10	100.0	
	実績		15.97	-	15.3	95.8			

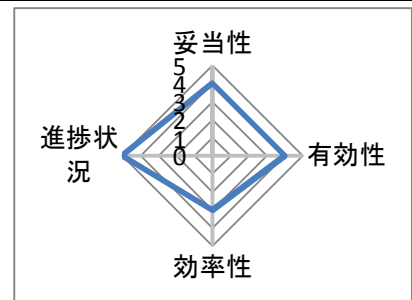
指標名2		助成1件当たりのコスト							
指標説明(式)		総事業費(事業費+人件費)÷助成件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		104923	-	105633	100.7	107418	101.7	
	実績		80066	-	76785	95.9			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住宅改修工事に対し補助金を交付することで市民の消費行動を活発にするとともに、商工業者の活性化を図りことは、市内の経済循環に繋がる。	4
	成果目標(改善)達成度	助成金額に対して総事業費が15倍超であり、個人消費を促すうえで有効であった。	
効率性	負担割合の適正化	申請事務に係る負担を最小限に留め、利用しやすい施策に努めた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民に対し事業が周知されたためか、早々に予算を執行し、9月補正で10,000千円の補正を行った。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	緊急経済対策としては効果があった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010100	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	観光協会推進事業	予算事業名	観光協会推進事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく			

2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する各種団体に負担金及び補助金を支出。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	観光客数	人	623505	719946		
	観光協会会員数	個人・団体	265	257		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.084	0.244	290	0.268	110	0.584	218	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	978,564	2,191,592	224	2,377,446	108	5,014,293	211	
	事業費	2,200,000	1,600,000	73	12,399,550	775	2,950,000	24	
	合計	3,178,564	3,791,592	119	14,776,996	390	7,964,293	54	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,178,564	3,791,592	119	14,776,996	390	7,964,293	54	
合計	3,178,564	3,791,592	119	14,776,996	390	7,964,293	54		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	750000	750000	100.0	750000	100.0	750000	100.0	
	実績	623505	719946	115.5	713444	99.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

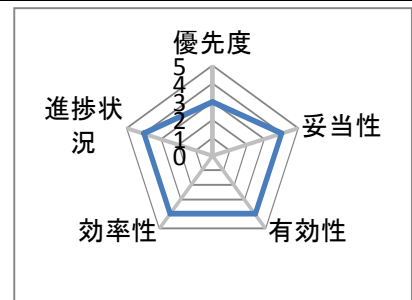
指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
部	目標	270	270	100.0	270	100.0	280	103.7	
	実績	265	257	97.0	273	106.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会のブログが即時的な情報発信が効果的に機能している。	4
効率性	執行体制の効率性	平成25年度では会員数が前年度より増加した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ペーロン祭を実施したため、観光客が増加した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	観光PRを充実させるには費用が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新規の会員を獲得するために、インセンティブの導入を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040203010200		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	観光費事務経費	予算事業名	観光費事務経費	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員					
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図り、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	観光協会会員数	個人・団体	265	257	273		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.216	675	0.216	100	0.140	65	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	568,024	1,975,320	348	1,977,722	100	1,448,529	73	
	事業費	1,485,859	1,195,110	80	1,505,490	126	1,846,000	123	
	合計	2,053,883	3,170,430	154	3,483,212	110	3,294,529	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,053,883	3,170,430	154	3,483,212	110	3,294,529	95	
	合計	2,053,883	3,170,430	154	3,483,212	110	3,294,529	95	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	270	270	100.0	270	100.0	280	103.7	
	実績	265	257	97.0	273	106.2			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

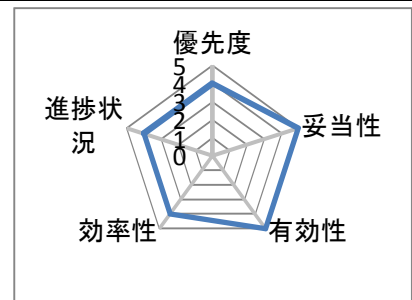
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	ブログなどを通じて市内飲食店の最新情報などを市民に提供している。	5
効率性	手段の最適性	観光協会は会員会費と市の補助金で運営されており、効率的に運営されている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成25年度より職員をパートタイム雇用からフルタイムに切り替えたことで事務処理がスムーズになった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	活動をより充実させるためには収入の増加が不可欠



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新規会員の獲得と、会員会費だけに依存しない運営を模索する。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	マリンスポーツ事業		予算事業名	マリンスポーツ事業 優先度 3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	海洋スポーツを通して市民相互の交流を活発にする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生ペーロン祭において、海洋スポーツの魅力を市民に知ってもらうため、ちびっこマリンスポーツ大会を実施するとともに、海洋スポーツの普及活動を行う。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	参加者数	人	89	325	386	400		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.024	86	0.012	50		0	
	臨時職員	0.000	0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	536,444	492,312	92	409,574	83	324,189	79	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100		0	
	合計	736,444	692,312	94	609,574	88	324,189	53	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	736,444	692,312	94	609,574	88	324,189	53	
合計	736,444	692,312	94	609,574	88	324,189	53		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ちびっこマリンスポーツ大会							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	400	133.3	
	実績	89	325	365.2	386	118.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		参加者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		実施費用(委託料)÷参加人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	666	666	100.0	666	100.0	500	75.1	
	実績	2247	615	27.4	518	84.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	海洋スポーツの魅力を市民に知ってもらうためには効果的な事業であるが、観光の観点からでは継続開催ではないため効果は薄い。	3
効率性	コストの節減	委託料については事業精査により削減済	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ペーロン祭の日に開催したことで参加者が増加した。	3

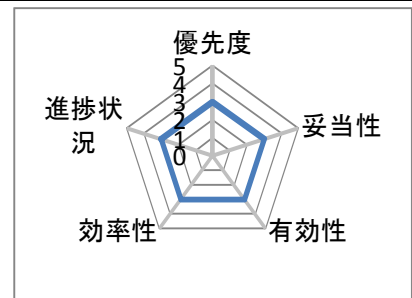
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	ペーロン祭での単発の事業なので実施方法を検討する

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	実施主体をペーロン祭協賛会へ移行する



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040203010400		事業の種類		3	
年度	25	事務事業名	観光PR推進事業	予算事業名		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)						

2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報発信が可能となる。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	ホームページアクセス数	件	72375	70748	81715	100000	
	ブログアクセス数	件	108378	128010	100023	105000	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.126	-	0.084	67	0.312	371	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費		1,280,160	-	963,038	75	2,829,861	294	
	事業費		2,000,000	-		0		-	
	合計		3,280,160	-	963,038	29	2,829,861	294	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		3,280,160	-	963,038	29	2,829,861	294	
合計		3,280,160	-	963,038	29	2,829,861	294		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	150000	100000	66.7	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	72735	70748	97.3	81715	115.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

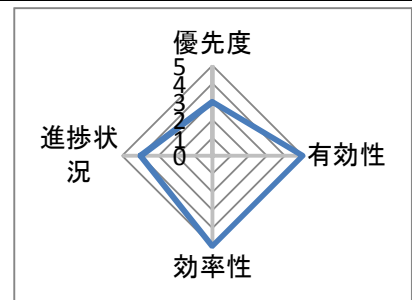
指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	105000	105.0	
	実績	108378	128010	118.1	100023	78.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	オフィシャルホームページで相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	5
効率性	執行体制の効率性	オフィシャルホームページでフォローしきれない観光協会会員等の情報をタイムリーに発信する。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ホームページとブログ更新により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	閲覧者のニーズに応えた情報を発信する



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	情報のニーズが多岐にわたるため、細かな情報収集と情報の共有が求められる。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	堤 琢磨	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業		ペーロン乗艇場整備				
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		最終日曜日と前日土曜日に、相生ペーロン祭を開催した。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	観光客	人	120000	120000	120000	120000
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	65	67	68	68

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.872	0.758	87	0.816	108	1.284	157	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	7,199,824	6,161,728	86	6,589,922	107	10,635,993	161	
	事業費	12,345,050	19,896,450	161	14,456,000	73	28,869,000	200	
	合計	19,544,874	26,058,178	133	21,045,922	81	39,504,993	188	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,544,874	26,058,178	133	21,045,922	81	39,504,993	188	
合計	19,544,874	26,058,178	133	21,045,922	81	39,504,993	188		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	40000	120000	300.0	120000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

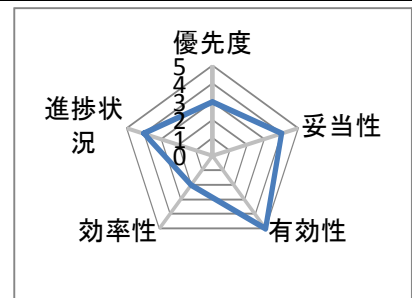
指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		150	-	280	186.7		0.0	
	実績	200	286	143.0	120	42.0			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	1824	1824	100.0	1826	100.1	-	-	
	実績	1824	1826	100.1	456	25.0			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、日本の祭りといった番組で取り上げていただくことで、全国に向けて相生市のPRをすることができた。	5
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や、来場者へのペーロン祭募金を実施しているが、年々警備費用が増加している。	2
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	露店商組合の解散に係る露店出店の取り扱い方法



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	相生ペーロン祭協賛会が主となり露店出店を取りしきる

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020200	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業	予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	三宅 淳一	担当者名
取組み事項		交流の活性化を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に開催。矢野町瓜生の自然を利用したイベント。市民参加型のかがしコンテストやステージイベントや各種バザーなどを実施。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	観客数	人	7300	2000	5500	10000
	かがし出品数	体	1075	1013	997	1000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.652	0.552	85	0.688	125	0.524	76	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,462,924	4,570,584	84	5,605,986	123	4,532,433	81	
	事業費	2,000,000	2,500,000	125	2,000,000	80	2,000,000	100	
	合計	7,462,924	7,070,584	95	7,605,986	108	6,532,433	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,462,924	7,070,584	95	7,605,986	108	6,532,433	86	
合計	7,462,924	7,070,584	95	7,605,986	108	6,532,433	86		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数							
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	10000	10000	100.0	11500	115.0	10000	87.0	
	実績	7300	5000	68.5	5500	110.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

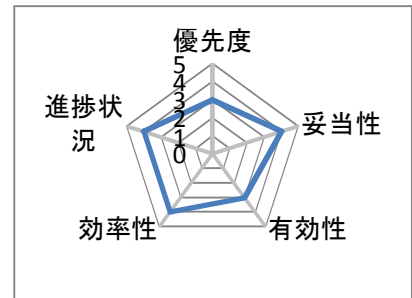
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	673	805	119.6	392	48.7	450	114.8	
	実績	1022	1002	98.0	770	76.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が雨に見舞われたため、メイン開催日の観客数が伸びなかった。	3
効率性	コストの節減	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ステージイベント等、リニューアルを検討する時期に差し掛かっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	企画のリニューアルについて、実行委員会で提起する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020300	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	相生かきまつり補助事業	予算事業名	相生かきまつり事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	観客数	人	17000	18000	14000	15000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.636	0.540	85	0.668	124	0.364	54	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	5,336,604	4,477,896	84	5,452,246	122	3,247,473	60	
	事業費	700,000	700,000	100	700,000	100	700,000	100	
	合計	6,036,604	5,177,896	86	6,152,246	119	3,947,473	64	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,036,604	5,177,896	86	6,152,246	119	3,947,473	64	
合計	6,036,604	5,177,896	86	6,152,246	119	3,947,473	64		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	17000	17000	100.0	18000	105.9	15000	83.3	
	実績	17000	18000	105.9	14000	77.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	308	358	116.2	122	34.1	133	109.0	
	実績	355	122	34.4	129	105.7			

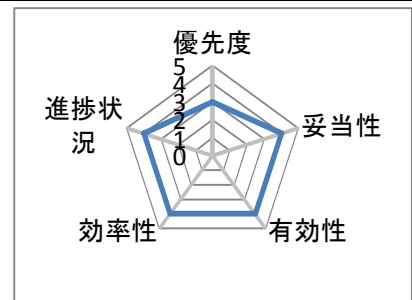
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	4
効率性	執行体制の効率性	ブランドイメージを向上させる目的があるため、生産者主体で行うイベントに方向転換を図る必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	かきまつりを開催することで多くの人々に「相生牡蠣」のPRが出来た。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	JR赤穂線沿線活性化のイベントに留まらず、シーズンウィ通じて、相生牡蠣のPRを行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	SNSを活用したPRにより、相生牡蠣のブランドを広める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020400	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	相生ペーロン振興事業	予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	堤 琢磨
実施計画事業名				実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生対象に体験乗船会を実施				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	体験乗船参加者数	人	2538	1707	2341	2000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.080	80	0.100	125	0.424	424	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,104,884	924,856	84	1,086,030	117	3,729,333	343	
	事業費	600,000	600,000	100	600,000	100	600,000	100	
	合計	1,704,884	1,524,856	89	1,686,030	111	4,329,333	257	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,704,884	1,524,856	89	1,686,030	111	4,329,333	257	
合計	1,704,884	1,524,856	89	1,686,030	111	4,329,333	257		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	2000	100.0	
	実績	2538	1707	67.3	2341	137.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

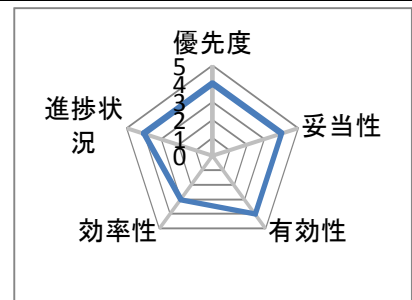
指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		体験乗船実施回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19	13	68.4	19	146.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	4
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費で、コストは適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申込のあった体験乗船を全てを実施することで出来、問い合わせも年々増加している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	平日の学校関係等の大きな体験乗船のスタッフ体制の整備



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	体験乗船スタッフ体制を整備する

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020500		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	相生名物創出事業		予算事業名	相生名物創出事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地産地消を原点に相生の特産品(牡蠣、大根大ちゃん、ゆず、若狭野味噌、イチジク等)を活かした相生名物の料理を創出・研究し、観光客の誘致をはかり、まちを活性化することを目的と						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生の新たな名物料理を創造・研究してくれるメンバーを市民より募集し、商品化につなげる。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	会員数	人	10	12			
	活動回数	回	18	16			

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.120	0.280	233	0.280	100	0.112	40	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,262,784	2,469,656	196	2,469,690	100	1,223,661	50	
	事業費	300,000	300,000	100	300,000	100	300,000	100	
	合計	1,562,784	2,769,656	177	2,769,690	100	1,523,661	55	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,562,784	2,769,656	177	2,769,690	100	1,523,661	55	
合計	1,562,784	2,769,656	177	2,769,690	100	1,523,661	55		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	12	12	100.0	12	100.0	—	—	
	実績	10	12	120.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

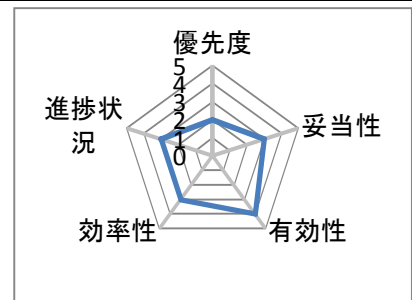
指標名1		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標説明(式)		相生うまいもん見つけ隊活動回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	12	12	100.0	12	100.0	—	—	
	実績	18	16	88.9	19	118.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生の特産品である、ゆずを使用したどら焼き「ゆずどら」を考案し、市内イベントで発表した。	4
効率性	手段の最適性	行政の枠にとらわれない、市民の自由な発想を求めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	月1回の定例会を開き、年度方針を定めて活動を行っている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業開始から5年が経過し、見直しの時期が来ている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成26年度をもって事業を区切りとする。

配点	32.5
総合評価	18.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		040203020600		事業の種類		5	
年度	25	事務事業名	相生湾臨海部活性化事業	予算事業名	相生湾臨海部活性化事業	優先度	—
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一	担当者名	堤 琢磨
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾の多彩な自然環境を活かし、みなとの資源を活用したイベントを実施し、「みなとオアシスあいおい」を中心とする地域の賑わいの創出と交流の場として、相生湾全体の魅力を高め					

2 事業の概要 Do

実施の概要		陸上部門 バザー、模擬店、ステージイベント 海上部門 ペーロン体験乗船、カヌー体験、キッズボート乗船、相生湾クルージング					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	参加者数	人	1300	0	1500	—	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.260	0.222	85	0.204	92		0	
	臨時職員	0.000	0.000	—		—		—	
支出内訳	人件費	2,368,084	2,021,664	85	1,885,478	93	324,189	17	
	事業費	700,000	63,280	9	700,000	1,106		0	
	合計	3,068,084	2,084,944	68	2,585,478	124	324,189	13	
財源内訳	国庫支出金			—		—		—	
	県支出金			—		—		—	
	市債			—		—		—	
	その他	700,000		0		—		—	
	一般財源	2,368,084	2,084,944	88	2,585,478	124	324,189	13	
合計	3,068,084	2,084,944	68	2,585,478	124	324,189	13		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1000	1500	150.0	1500	100.0	—	—	
	実績	1300	0	0.0	1500	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

【効率性】

指標名1		参加者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1000	1925	192.5	1500	77.9		0.0	
	実績	2360	0	0.0	1724	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな海の環境の中で、参加者に海洋スポーツを体験してもらうことで、相生湾の魅力のPRが出来た。	4
効率性	執行体制の効率性	相生地区3自治会との連携	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	目的は達成できた。	4

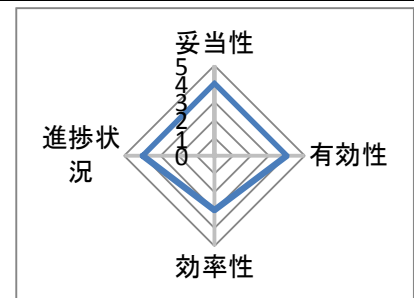
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	事業実施の終了

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	地元自治会で開催する場合の関与の検討



配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020700	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	ペーロン海館管理事業	予算事業名	ペーロン海館管理事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	三宅 淳一	担当者名 堤 琢磨
取組み事項		交流の活性化を推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン海館として、ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン体験乗船を中心とするペーロン振興の拠点とすること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン競漕で使用するペーロン船を格納するとともに展示し、観光客の見学を実施するとともに、ペーロン体験乗船の拠点としている。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	ペーロン海館利用者数	人	9603	8665		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.016	57	0.016	100	0.064	400	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	536,444	430,520	80	440,322	102	838,173	190	
	事業費	2,400,000	2,400,000	100	2,400,000	100	2,400,000	100	
	合計	2,936,444	2,830,520	96	2,840,322	100	3,238,173	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,936,444	2,830,520	96	2,840,322	100	3,238,173	114	
合計	2,936,444	2,830,520	96	2,840,322	100	3,238,173	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館の開館日数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標		366	-	365	99.7	365	100.0	
	実績	365	366	100.3	365	99.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		ペーロン海館の利用者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
日	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	9603	8665	90.2	8880	102.5			

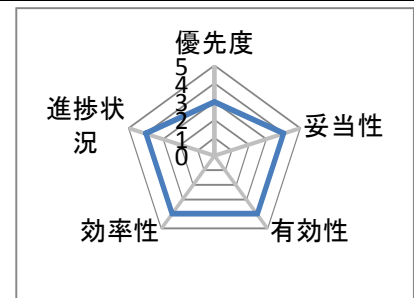
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習、体験乗船、観光客の見学などで多くの人々が訪れている。	4
効率性	手段の最適性	指定管理者制度を導入し、効率的な管理に努めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者制度を導入し、契約に基づき適正に管理されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新艇庫完成移転後の活用方法の検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新艇庫完成移転後の活用方法の検討

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020800	事業の種類	2
年度	25	事務事業名	道の駅管理運営事業	予算事業名	道の駅管理運営事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		交流の活性化を推進する		担当者名	堤 琢磨
実施計画事業名				実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城の管理運営を委託。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	道の駅管理委託料	円	3108000	3108000	3108000	3108000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.052	0.124	238	0.124	100	0.044	35	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	725,924	1,264,712	174	1,270,518	100	677,553	53	
	事業費	5,651,527	5,307,677	94	5,565,105	105	5,918,000	106	
	合計	6,377,451	6,572,389	103	6,835,623	104	6,595,553	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,377,451	6,572,389	103	6,835,623	104	6,595,553	96	
合計	6,377,451	6,572,389	103	6,835,623	104	6,595,553	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅来場者数							
指標説明(式)		道の駅来場者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	363743	364615	100.2	367195	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		道の駅来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/来場者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15.9	16.7	105.0	17	101.8	15	88.2	
	実績	17.5	18	102.9	15	83.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適性に管理運営を実施できた。	3
効率性	コストの節減	管理運営費用は見直しを行い削減に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	4

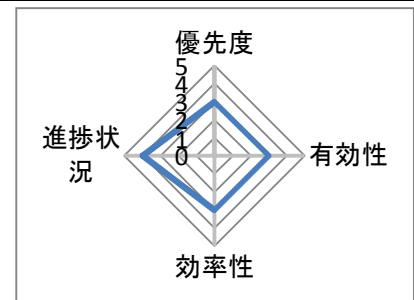
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年劣化による施設の老朽化

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	来場者のニーズを発見し、限られた費用の中で適正な管理をしていく



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020900	事業の種類	6
年度	25	事務事業名	ペーロン海館建設事業	予算事業名	ペーロン海館建設事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		新ペーロン艇庫建設			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客			
	誰(何)を対象として	市民・観光客			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
			—			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		0.052	-	0.052	100	0.236	454	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費		708,584	-	717,054	101	2,219,505	310	
	事業費		4,924,500	-	9,435,000	192	77,000,000	816	
	合計		5,633,084	-	10,152,054	180	79,219,505	780	
財源内訳	国庫支出金		2,462,250	-	4,698,750	191	21,000,000	447	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		3,170,834	-	5,453,304	172	58,219,505	1,068	
合計		5,633,084	-	10,152,054	180	79,219,505	780		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標		—	-	2	-		0.0	
	実績		0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

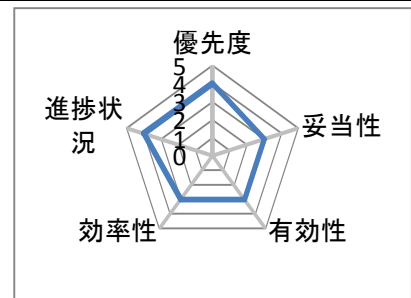
指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	—	4	—	5	125.0		0.0	
	実績	—	7	—		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	3
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	乗艇場及び船舶保管施設の詳細設計を行った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	地域住民との協議の実施



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	地域住民との協議の実施及建設費用の精査

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	1	
年度	25	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者					
	誰(何)を対象として	第三セクター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	株式取得		-	-	-	-	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.024	150	0.036	150	0.012	33	
	臨時職員	0.004	0.004	100	0.004	100	0.000	0	
支出内訳	人件費	451,092	501,924	111	603,826	120	420,561	70	
	事業費			-		-		-	
	合計	451,092	501,924	111	603,826	120	420,561	70	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	451,092	501,924	111	603,826	120	420,561	70	
	合計	451,092	501,924	111	603,826	120	420,561	70	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	363,742	356,804	98.1	350,307	98.2			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	類似施設との競争激化という社会状況にあり、前年度に比べて若干入場者数は減少している。	3
	市民サービス	道の駅でもあり観光客が立ちよることで、交流人口の増となっているだけでなく、各種イベントにより物販コーナーなど市民のにぎわいの場ともなっている。	
効率性	手段の最適性	相生湾臨海部のにぎわいの場の創出手段としては必要である。	3
	負担割合の適正化	相生市は、株主であるが、損失補償等を行っていない。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	道の駅、海の駅としてにぎわいの拠点としているが、目標の約87%の入場者となっている。	4

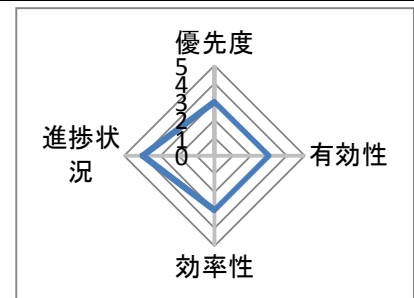
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市有であるペーロン海館部分が移転されたあとの利活用の検討が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市の活性化にもつなげるよう、ペーロン城全体の利用促進となる方策を検討する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	ふるさと交流館管理事業	予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	竹本 頼高	担当者名
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う	実施計画への記載	有	主要事業の指定
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び国民			
	誰(何)を対象として	地域住民及び国民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことにより、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	交流館利用者数	人	8127	7829	6604	11000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.100	0.116	116	0.100	86	0.092	92	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,104,884	1,202,920	109	1,086,030	90	1,063,041	98	
	事業費	7,847,785	8,826,175	112	9,283,870	105	11,100,000	120	
	合計	8,952,669	10,029,095	112	10,369,900	103	12,163,041	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,952,669	10,029,095	112	10,369,900	103	12,163,041	117	
合計	8,952,669	10,029,095	112	10,369,900	103	12,163,041	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会館利用者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	11000	11000	100.0	11000	100.0	11000	100.0	
	実績	8127	7829	96.3	6604	84.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費/会館利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	900	900	100.0	900	100.0	900	100.0	
	実績	965	932	96.6	1105	118.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	毎月色々なイベントを行っているが、内容が大きく変わらないため利用者減となっており、今後利用者増に向け事業展開をする必要がある。	4
	市民サービス	地元野菜を利用した夕食は好評であり、利用者の意見を反映するためアンケートも行っている。	
効率性	コストの節減	長期利用を考えても利用率を上げコスト削減を行う必要がある。	3
	執行体制の効率性	指定管理者のより一層の努力を必要とする。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画よりやや遅れている。	3

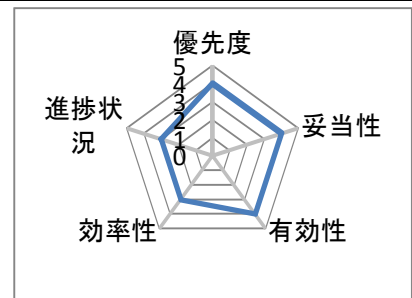
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	利用率を上げるためにも更なるPRの必要がある

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	長期利用を考えても利用率を上げコスト削減を行う必要がある



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	竹本 頼高	担当者名	禪野 光伸
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	利用者数(市民)	人	3909	4549	4203	5000	
	利用者数(市外)	人	15459	16576	17245	18000	
	整備箇所	箇所	6	4	6	6	
	整備事業費	円	2990400	2978950	3241350	3000000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.420	0.420	100	0.420	100	0.412	98	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	3,631,284	3,551,016	98	3,545,870	100	3,632,961	102	
	事業費	5,115,225	4,854,650	95	4,898,020	101	8,450,000	173	
	合計	8,746,509	8,405,666	96	8,443,890	100	12,082,961	143	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,746,509	8,405,666	96	8,443,890	100	12,082,961	143	
	合計	8,746,509	8,405,666	96	8,443,890	100	12,082,961	143	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	21000	21000	100.0	22000	104.8	22000	100.0	
	実績	19368	21125	109.1	21448	101.5			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷365日×10棟							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	24.3	25.5	104.9	25.2	98.8			

【効率性】

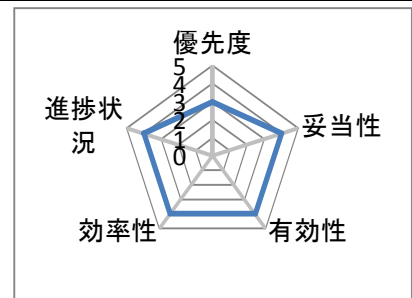
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	439	439	100.0	439	100.0	439	100.0	
	実績	451	398	88.2	394	99.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、増加傾向である。	
効率性	コストの節減	平成26年度より、管理コスト等を考慮し引き続き指定管理者を更新しており、コストの節減は図られている。	4
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス低下もなく、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	コテージ等の老朽化が進んでいるため、順次改修を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	改修に関して、施工方法等を検討し、順位付けを行い順次改修を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040204010100	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業	予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		地域に根ざした工業の強化を図る	担当課長	担当者名	
取組み事項		地域ものづくり基盤の強化を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員			
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	41	155	245	250
	受講企業数(延べ)	社	28	52	62	50

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.012	60	0.012	100	0.020	167	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	473,284	399,624	84	409,574	102	484,809	118	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	合計	673,284	599,624	89	609,574	102	684,809	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	673,284	599,624	89	609,574	102	684,809	112	
合計	673,284	599,624	89	609,574	102	684,809	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生技能研修センター研修受講者数							
指標説明(式)		研修受講者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	51	52	102.0	298	573.1	296	99.3	
	実績	41	155	378.0	245	158.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

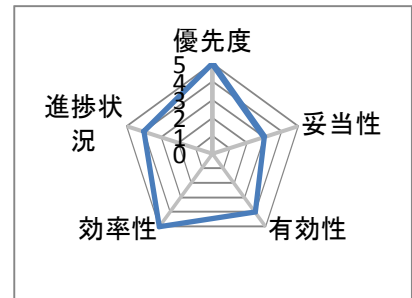
指標名1		受講者一人当たりに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷蒼受講者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	3921	3846	98.1	671	17.4	675	100.6	
	実績	4878	1290	26.4	816	63.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、約2.2%である。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市を支える基幹産業の技術継承のため市の関与は妥当である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	平成24年度から安全体験研修等組み入れ、研修項目の充実を図っている。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	040204020100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	中小企業小額資金融資事業
予算事業名	中小企業小額資金融資事業	優先度	4
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る	担当課長	三宅 淳一
取組み事項	中小企業の経営改善強化に向けた支援をする	担当者名	堤 琢磨
実施計画事業名		主要事業の指定	無
実施計画事業名			
根拠法規及び関連法規	相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者	
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	①市制度融資事務 保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼 ②利子補給事務 保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度として、補助					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	融資総額	千円	45700	18000	38850	50000
	保証料補助額	円	938397	138224	481637	1000000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.192	0.184	96	0.184	100	0.064	35	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,831,224	1,728,152	94	1,731,738	100	838,173	48	
	事業費	938,397	184,435	20	481,637	261	1,000,000	208	
	合計	2,769,621	1,912,587	69	2,213,375	116	1,838,173	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,769,621	1,912,587	69	2,213,375	116	1,838,173	83	
合計	2,769,621	1,912,587	69	2,213,375	116	1,838,173	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市制度融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	13	3	23.1	8	266.7			
指標名2		保証料補助件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	12	3	25.0	6	200.0			

【効率性】

指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	125000	125000	100.0	75000	60.0	125000	166.7	
	実績	78199	46074	58.9	80272	174.2			

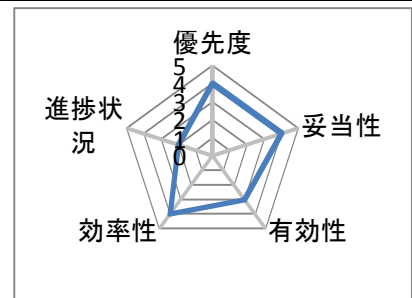
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	融資利用者の半数近くが本制度を利用しておらず、周知を図る必要がある。金融機関の一層の協力が必要で。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	昨年に比べると、融資額・件数ともに増加しているが、例年と比べるとまだまだ少ない。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	融資限度額、利子補給制度のニーズへの適正化



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	金融機関だけでなく、市内中小企業の方々への周知を図る

配点	32.5
総合評価	23